



Topics1. わな捕獲技術向上研修会を実施しました！
Topics2. 鳥獣被害対策マイスターとして51名を認定！



Topics1

わなによる有効な捕獲方法を学びました！

今回は、9月に実施したわな捕獲技術向上研修（自然環境課共催）についてご紹介します。

▼わな捕獲技術向上研修会について

本研修では、新規狩猟免許取得者等を対象に、捕獲技術の向上を目指して、わなによる有効的な捕獲方法を学びます。今年度は、2名の講師をお招きし、2日間にわたり綾町で実施しました。

講師

小西俊一様（県猟友会綾支部長兼

室屋敦紀様（農作物野生鳥獣対策アドバイザー）

▼初級編（1日目）

わなの仕組みや設置方法について学びました。くくりわなの設置では、最初はうまく出来なかった方々が練習後には、上手に設置できるようになっていました。

▼応用編（2日目）

2日目は、より実践的な内容として、『小林式誘引捕獲』（シカが餌を食べる際に前足を一歩踏み出す習性を利用した捕獲方法）について学びました。

実地研修では、箱わな設置のポイントや止めさしについて教えていただきました。

▼まとめ

参加者の皆様にとっては、初めて知ることも多く、大変有意義だったと思います。本研修を通じて、狩猟免許初心者の方の技術向上だけでなく、先輩狩猟者から若手狩猟者への技術継承にも繋がると良いですね！

Topics2

鳥獣被害対策支援センターでは、地域の鳥獣被害対策のコーディネーターとして活動する技術指導者を養成するため、「鳥獣被害対策マイスター認定研修」を実施しています。今年度、5月から7月にかけて開催した研修について、紹介します。

研修Ⅰ・Ⅱ

鳥獣被害対策の基礎知識や、主要加害獣の行動特性と対策等について座学研修を実施しました。実技研修では、自動撮影カメラの取り扱い方法や電気柵・ワイヤーメッシュ柵の設置方法を学びました。

研修Ⅲ

鳥獣被害対策に熱心に取り組まれている「宮崎市富吉地区」において、電気柵の管理状況等の集落点検をしました。その後、班毎に点検マップを作成し、点検結果を発表し合いました。富吉地区の皆様、御協力ありがとうございました。



電気柵設置



座学



点検マップ



集落点検

認定試験後…



今年度51名をマイスター認定！
合計1,002名となりました！！

これから一緒に鳥獣被害対策、頑張ります！！

☆鳥獣被害対策地域特命チームだより☆

西諸県地域



① ワクチン散布風景

令和7年4月11日に都城市内で野生イノシシにおける豚熱（CSF）の感染が確認されました。これを受けて、県では、豚熱ウイルスが野生イノシシを介して養豚農場に侵入するリスクを低減させるため、4月17、18日に野生イノシシへの豚熱経口ワクチンの緊急散布を実施しました。

西諸管内では小林市6地点、高原町19地点の計25地点で散布を行っています。

経口ワクチンを散布した地点には、『経口ワクチン散布中』の掲示板を表示して、豚熱ウイルス拡散防止のために散布地点には近づかないようお願いしています。



③ 経口ワクチン掲示板



② 経口ワクチン及び誘因餌

また、4月22日に野生イノシシの経口ワクチン摂取状況を確認するために、散布したワクチンの一部を回収し、2回目のワクチン散布と回収を5月に実施しました。

その後、新たに野生イノシシにおける豚熱の感染が確認されたことから、9月に高原町で経口ワクチン散布と回収を行い、10月には定期散布を小林市、高原町で実施する予定です。

今後とも、地域一丸となった野生鳥獣による被害防止対策を推進していきます。

東臼杵北部地域

「鳥類の被害防止対策の取組」

延岡市では、昨年秋頃からヒヨドリやカモ類の被害が多く発生したこと、今回、現地での取組状況について御報告します。

まず、ヒヨドリですが、市内各地域で数多くの飛来があり、キャベツでは、食害による生育不良や欠株の被害を受けたほか、ブロッコリーでは、食害や花蕾（からい）に糞を落とし、出荷ができないなどの被害が発生しました。

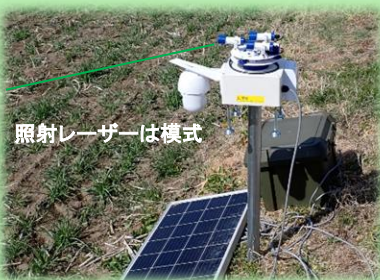
現地のキャベツほ場では、緊急的に鳥獣被害対策支援センターから借用した「音発生装置」、「電子コントロール式自動爆音機」を設置し、作付者の方では、ほ場の一部に防鳥ネットやきらきらテープを設置しました。

次にカモ類では、市内を流れる北川、五ヶ瀬川に近い水田において、イタリアンライグラス（飼料作物）や小麦で食害が発生しました。

現地では、追い払い対策として、鳥類の動くものへの警戒心を利用し、大型の旗を飼料作物ほ場内に複数本設置している取組

や、先進的な農家の小麦ほ場では、忌避レーザー装置を複数台設置し照射する取組が実施されました。

鳥類は被害防止対策が困難な類いですが、防鳥網や不織布等による物理的対策について、長期的な視点で費用対効果を考え導入することを検討し、次は、旗、きらきらテープ、爆音機等の追い払い対策について、できるだけ慣れを生じない工夫をしつつ、複層的に対策を講じていくことで一定の効果が期待されるのではないかと思います。



② 忌避レーザー装置
(小麦ほ場)



① 旗（吹き流し）
(イタリアンライグラスほ場)